

## クボタグループの歩み



# 1890年の創業以来、 食料・水・環境に関わる地球規模の 課題解決に取り組んでいます。

1890年、19歳で鋳物業を開業したクボタグループの創業者・久保田権四郎。「やればできる」「失敗を恐れるな」の信念で日本で初めて水道管の量産化や農業の機械化を実現し、社会の発展に貢献してきました。

「国の発展に役立つ商品は、全知全霊を込めて作り出さねば生まれない」

「技術的に優れているだけでなく、社会の皆様役に役立つものでなければならない」

この創業者の信念は、今日までグループ4万人に息づいており、クボタグループのあるべき姿「グローバル・メジャー・ブランド クボタ」の実現に向け、グローバルに事業を推進しています。

## 企業理念

### 「クボタグローバルアイデンティティ」

**スピリッツ**  
(私たちの精神・姿勢)

- 一、総合力を生かしすぐれた製品と技術を通じて社会の発展につくそう
- 一、会社の繁栄と従業員の幸福<sup>ねが</sup>を希って今日を築き明日<sup>ひら</sup>を拓こう
- 一、創意と勇気をもって未知の世界に挑戦しよう

**ブランドステートメント**  
(私たちの約束)

**For Earth, For Life**  
**Kubota**

**ミッション**  
(私たちの使命)

人類の生存に欠かすことのできない食料・水・環境。  
クボタグループは、優れた製品・技術・サービスを通じ、  
豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、  
快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。



クボタ・グローバル・グループ

2030 &gt;

めざす姿

## 豊かな社会と自然の循環にコミットする “命を支えるプラットフォーマー”

SDGsの達成に向けて

グローバル企業へ

社会の発展とともに

事業の礎

創業 1890

鋳物メーカーとして  
創業。衛器用鋳物・日  
用品鋳物の製造開始

クボタグループは、  
農業の効率化によって  
豊かで安定的な食料の  
生産に貢献します。

**食料**

2 飢餓をゼロに  
1 貧困をなくす

クボタグループは、  
水インフラの整備によって  
安心な水の供給と再生に  
貢献します。

**水**

6 安全な水とトイレを世界中に  
3 気候変動に具体的な対策を

クボタグループは、  
社会基盤の整備によって  
快適な生活環境の創造と  
保全に貢献します。

**環境**

11 住み続けられるまちづくりを  
7 気候変動に具体的な対策を

2011

世界で初めて米国CARBの認証を  
取得するなど、世界のエンジン排出  
ガス規制にスピーディに対応



第4次排ガス規制に対応したエンジン

2014

フランスに大型畑作用トラクタの生  
産会社を設立



広大な畑で活躍する大型トラクタ

2015

ミャンマーで上下水処理施設等を  
建設



ティラワ工業団地に施工した浄水場

1962

「水処理事業」に進出し、顕在化し  
てきた水質汚染問題に対応

事業部発足後に初受注した  
広島県三次市の屎尿処理施設

1968

現在の「田植機」の原型を製造開始



現在の田植機の原型となったモデル

1974

小型建機ミニバックホーの製造を開  
始し、小規模な都市型工事に貢献

後のクボタミニバックホーのベースと  
なった全旋回式小型油圧ショベル

1904

国内で初の「水道用鉄管」を量産



1905年頃のクボタ鉄管出荷場

1947

農業機械化の先駆けとなる「耕うん  
機」を開発



耕うん機第1号機

1960

農村部の労働力不足を支えるため、  
「トラクタ」を開発



畑作用乗用トラクタ

■ 食料 ■ 水 ■ 環境